

太陽光発電装置の実験導入開始

株式会社ポプラ（本社：広島県広島市、代表取締役社長：目黒真司）は、太陽光発電装置を店舗に設置し、省エネルギーに係る実用性の検証実験を本日6月4日（火曜日）より順次開始いたします。

この実験導入では、既に取り組んでいる「店内照明のLED化」に加え、「看板照明のLED化」および使用電力のピークカット並びに電力使用量の見える化を目的とする「スマートセンサーの導入」と合わせ、総合的な省エネルギー対策の効果測定および多店舗展開スキームの確立を目的としております。

ポプラでは、これからも人と地球にやさしい企業を目指し、環境負荷低減のためのさまざまな取り組みを行ってまいります。

記

■ 太陽光発電装置の導入

- ・実験店舗：「ポプラ三筋店」「ポプラこころ中央店」「ポプラ五月が丘入口店」
- ・導入日：2013年6月4日より
- ・店舗当り年間発電量：10,683kWh
- ・店舗当り年間CO2削減量：4.11t-CO2
- ・パナソニック製太陽光パネル（容量：227.3W×45枚）

■ スマートセンサーの導入

- ・上記店舗を含む136店舗に導入予定
- ・計測・分析・オペレーション見直し等での店舗当り想定削減率：5%

■ 店内照明のLED化

- ・従来の新規店舗標準仕様から2012年度に既存店舗のLED化を促進（4月末で上記店舗を含む50%以上の店舗で導入済、順次導入を推進）
- ・従来の蛍光管と比較し電力量約40%の削減

■ 看板照明のLED化

- ・新店より順次導入
- ・従来の蛍光管と比較し電力量約40%の削減、さらに照明管を削減し、合計76%の削減を実現

